

第7期福島県障がい福祉計画・第3期福島県障がい児福祉計画（素案）

に関する県民意見公募の結果について

1 意見募集結果の概要

(1) 募集期間

令和6年1月17日（水）～令和6年1月31日（水）

(2) 実施方法

県ホームページにおいて、計画素案を公表し、郵送、持参、FAX 及び電子メールにより意見を募集しました。

(3) 意見の数

1件

2 意見と県の対応

No.	該当箇所	意見内容	対応
1	—	<p>「障害者が悪いのではなく、障害者を産まないように努力しないのが悪い」という観点から意見発信する立場で「妊娠中に障害児だと判ったら迷わず中絶してください、エゴ出産はやめて」と発信しています。</p> <p>その理由は、ひとりの障害者を支えるのに最低でも数人はかかります。出産した夫婦で世話をできるはずなどなく、アカの他人が納めた血税を使って育てているのに、出産した夫婦を美談の人のように扱われていることに嫌悪感を感じます。</p> <p>また、重度の知的障害となると施設内で本当に介助ができていないのか疑問です。世間には見えない部分では何が行われているのか判りません。これは「介助する側に問題があるのではなく、無責任に障害者を産んだ夫婦が悪い！」という因果関係を把握することが大切です。</p> <p>面倒なことをアカの他人へ任せた以上、障害者がどんな酷い扱い方をされようとも任せた側は苦情は言えないという道理さえ理解できていない層が諸悪の根源です。</p> <p>「貧乏人の子沢山」がアカの他人の世帯の可処分所得を減らしているのですが、なぜか、「政治が悪い」の5文字にだけ帰結する愚民国家をまともな思考ができる国家にしなくてはなりません。</p> <p>そうでなくても、国も地方も財政が困窮している近年、絵に描いた餅のようなキレイゴトを並べたところで具現化できるはずがありません。福祉を充実させればさせるほど負担の重い高額納税者たちは海外へ移住します。それによって国内はますます貧困化します。まずはこれらの状況を踏まえることが重要です。</p>	御意見として承ります。